

項目		説明	
試料・情報	研究課題名	骨軟部腫瘍における細胞診の有用性に関する研究	
の利用目的 及び 利用方法	研究対象者	2018 年 1 月から 2026 年 7 月までに当院で骨や軟部の腫瘍について診療を受け組織・細胞診検査を受けた患者さんを対象とします。	
	研究目的	本研究は、これまでに採取された骨や軟部組織の細胞診標本と組織標本を比較し、身体への負担が比較的少なく、短時間で結果を得られる細胞診検査が、骨・軟部腫瘍の診断にどの程度役立つかを明らかにすることを目的としています。また、診断が難しい病変の特徴や追加検査の有用性についても検討します。これにより、診断の迅速化と精度向上を図り、将来的に適切な治療をより早く開始することにつなげることを目指します。	
	研究方法	当院でこれまでに採取・保存された骨や軟部組織の細胞診標本、組織標本および診療情報を用いて研究を行います。細胞診標本を複数の検査担当者が評価し、その結果を最終的な組織診断と比較して、診断の正確さや判定の一致度を調べます。また、利用可能な検体については、免疫染色や FISH などの追加検査が診断に役立つかも検討します。本研究のために新たな検査や検体採取を行うことはありません。	
	個人情報保護	対象となる患者さんの診療情報には個人情報が含まれますが、氏名や住所などの情報を削り、容易に個人を特定できないように研究用の番号（識別コード）で管理します。個人と識別コードを照合できるようにする対応表を作成しますが、パスワードロックや鍵をかけて厳重に保管し、院外へ提供することはありません。	
	研究期間	西 暦 2 0 2 6 年 8 月 3 1 日 ～ 西 暦 2 0 2 8 年 3 月 3 1 日	
	利用又は提供を開始する時期	[X] 総長が研究実施を許可した日 [] 西暦 年 月 日頃（研究の進捗によって前後いたします）	
利用する試料・情報の項目（チェック[X]が入った項目を利用します）	試料:	[X] [] 血漿、[] 血清、[] 全血、[] 末梢血から抽出した DNA、 [X] 病理検体(具体的に記載:細胞診検体、病理組織検体)、 [] 尿、[] 糞便、[] 唾液、[] 胸水、[] 腹水、[] 脳脊髄液、 [] 毛髪、[] その他(具体的に記載:_____)	
	情報:	[X] [X] 診断名(臨床病期や分類、病理診断を含む)、[×] 年齢、[] 生年月日、[X] 性別、[X] 既往歴、[X] 併存疾患、[] 外来日・入院日・退院日、[X] 臨床検査値、[×] 放射線診断や超音波検査、内視鏡検査等の画像データ、[X] 臨床所見・経過（予後追跡データを含む）、[] ゲノムデータ、[] 看護記録、[] その他(具体的に記載:_____)	
試料・情報を利用する者の範囲	当センター研究責任者	所属・氏名 病理診断科・望月怜奈	
	共同研究機関および責任者	なし	
	その他の機関	なし	
試料・情報の利用停止および情報公開に関する窓口	施設名：神奈川県立がんセンター 所属：病理診断科 氏名：望月怜奈、連絡先：045-520-2222 利用停止のお申し出は 2026 年 10 月 31 日までにお願いいたします ただし、お申し出いただいた時にすでにデータが固定され、研究成果が論文などで公表されていた場合には、患者さんのデータを廃棄できない場合があります		